

NJ日本人学校 餅つき大会

ニュージャーシー日本人学校（岡村富広校長）は12月17日、初等部の餅つき会を行った。1、6年生25人の児童が参加し、餅つきと試食をした。力と願いを込め、自分でついた餅に舌鼓を打った。

活動を始める前に、なぜ日本ではお正月などに餅を食べるのかを簡単に解説し、その後、実際に石臼と杵を使った餅つき体験を行った。



はじめは遠慮がちに杵を振っていたが、徐々に思い切り良く振り下ろすことができるようになり、「パァン」と快い音が会場に響き渡った。また目の前で餅米から餅へと変化していくさまに驚いていた。各活動で、上級生が下級生を助ける姿がみられた。

週間 NY 生活 1 月 1 日